

令和7年度 大正東中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【=Computer Based Testing】とする）で実施。

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3 年	学校	166	48	39	6.7	11.3
	大阪市	—	52	46	6.8	11.2
4月17日	全国	—	54.3	48.3	6.7	10.6

	平均IRTスコア
	理科
学校	466
大阪市	489
全国	503

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

令和7年度 大正東中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査

＜国語＞全国と比較して、すべての内容・領域において正答率は下回ったものの、対象問題計14問のうち無回答率が0.0%という数値がでていた問題が6問あった。このことから問題に取り組む意欲があることが分かる。一方、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域においては差が大きく、課題があるという結果だった。

＜数学＞全国と比較して、すべての内容・領域について、平均正答率が下回ったものの、図形の区分については差が小さかった。一方、データ活用の区分については、大きく課題がある。

＜理科＞塩素の元素記号を書くような丸暗記して答えられる問題は全国平均を大きく超えているが、スケッチを見たり、会話形式の問題を分析して、記述する問題に課題がある。

○3年生チャレンジテスト

＜国語＞「思考・判断・表現」の特に「読むこと」に課題があるため、今後その領域を重点的に取り組んでいく。一方、「我が国の言語文化に関する事項」は＋1.4点と大阪府平均より高かった。

＜数学＞図形は大阪府平均に近づいているが、他の分野は課題がある。2年次のチャレンジテストの府平均との差が若干縮んだ。今後は家庭学習において既習事項の復習や小テスト等で復習問題に取り組んでいく。

＜理科＞カエルの胚のようすなど、授業で写真や動画を見せた問題は大阪府の平均を超えているが、濃度や溶解度、距離を求めるなど計算を必要とする問題に課題がある。今後はオームの法則や濃度、湿度の計算など、分数を使う計算問題を反復練習に取り組み、定着させていく。

＜社会＞大阪府平均よりマイナス2.6ポイントだった。事前に対策をした地形図の分野では正答率が大阪府平均を上回った。一方、記述式の問題に課題があることが明らかになったため、復習に重点を置いていく。

＜英語＞大阪府平均よりマイナス9.3ポイントを下回る結果となった。「書くこと」に課題があることが明らかであるため、今後、重点的に取り組んでいく。

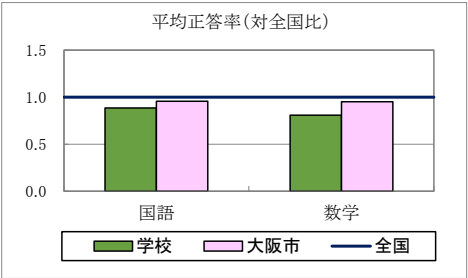
【今後に向けて】

令和7年度 大正東中学校のあゆみ
 ―結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について―

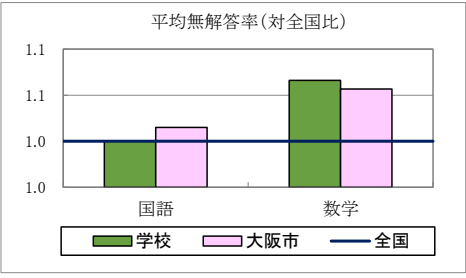
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	48	39
大阪市	52	46
全国	54.3	48.3

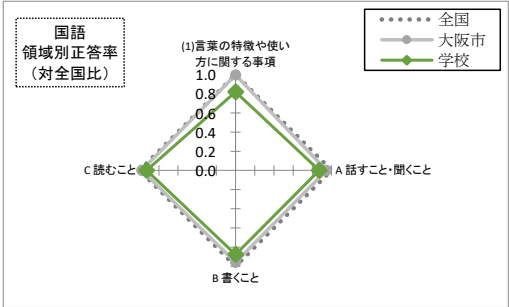
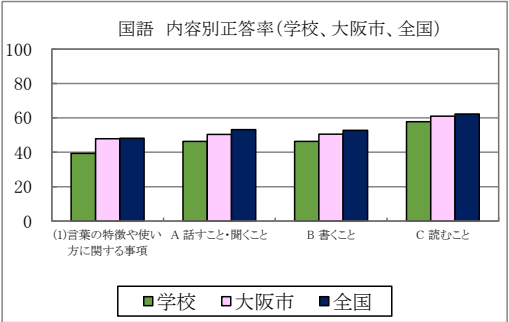


	平均無解答率(%)	
	国語	数学
学校	6.7	11.3
大阪市	6.8	11.2
全国	6.7	10.6



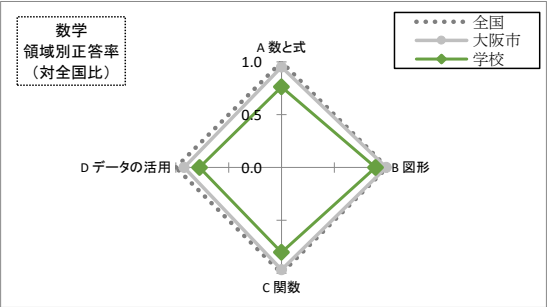
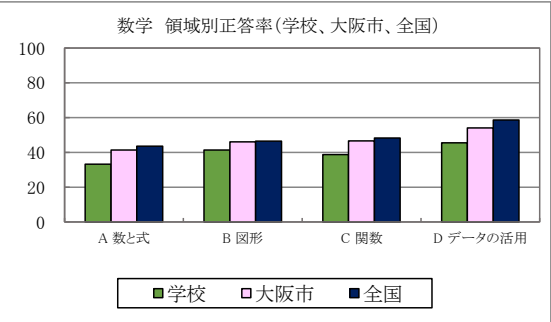
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	39.4	47.9	48.1
(2)情報の扱い方に 関する事項	0			
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	4	46.4	50.4	53.2
B 書くこと	5	46.3	50.6	52.8
C 読むこと	3	57.8	61.0	62.3



【 数 学 】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	33.2	41.4	43.5
B 図形	4	41.4	46.1	46.5
C 関数	3	38.7	46.6	48.2
D データの活用	3	45.5	54.0	58.6

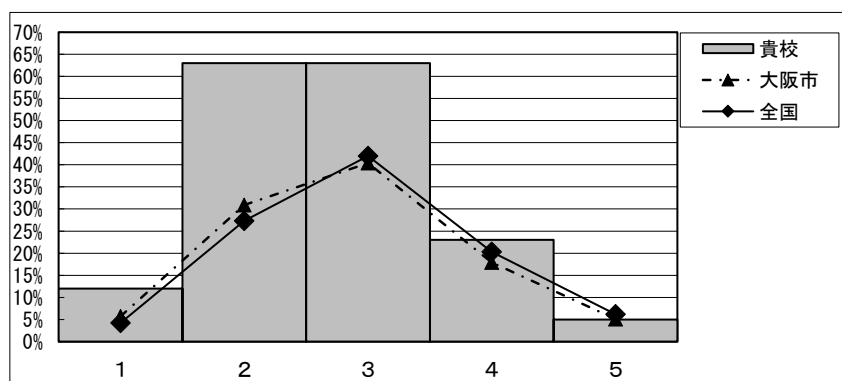
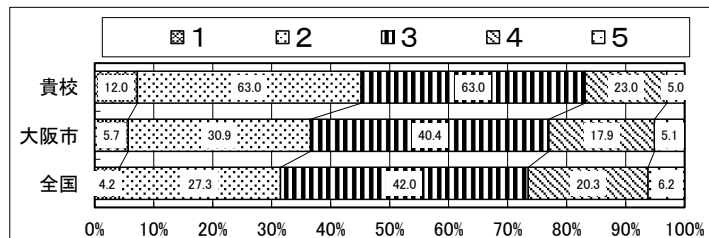


令和7年度 大正東中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

	平均IRTスコア
学校	466
大阪市	489
全国	503



令和7年度 大正東中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

生徒質問より

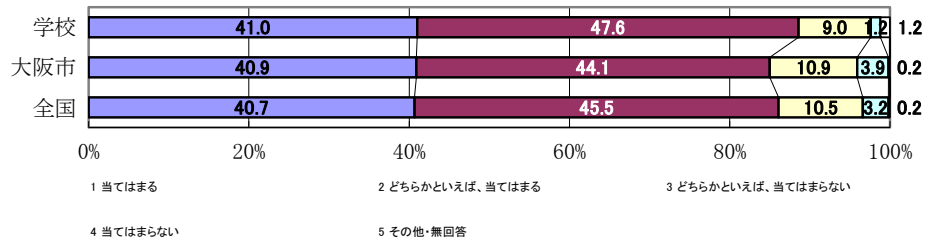
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

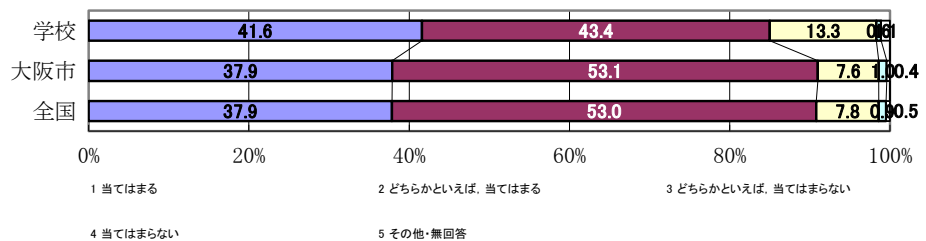
5

自分には、よいところがあると思いますか



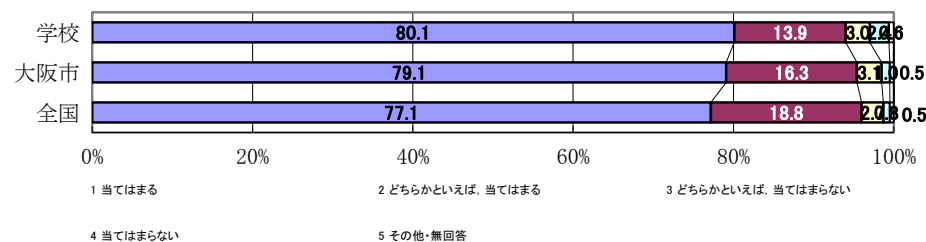
8

人が困っているときは、進んで助けていますか



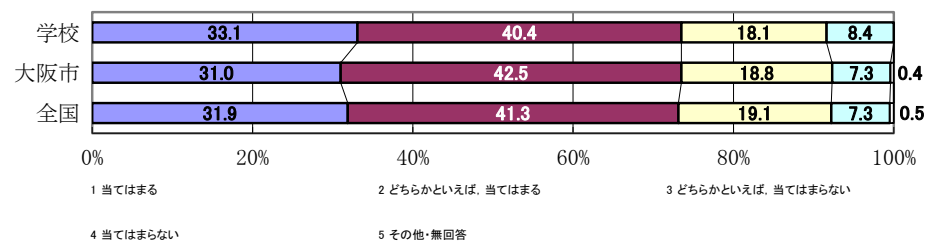
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



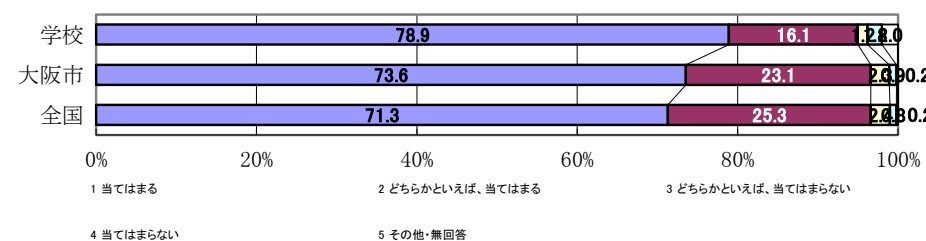
10

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



令和7年度 大正東中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

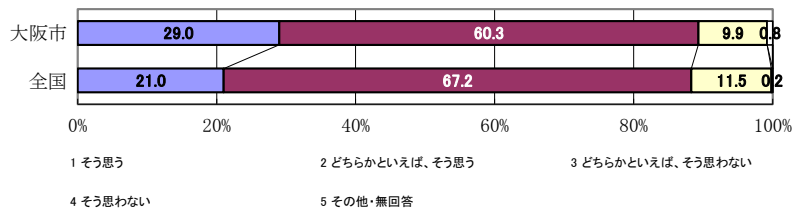
質問番号

質問事項

25

調査対象学年の生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

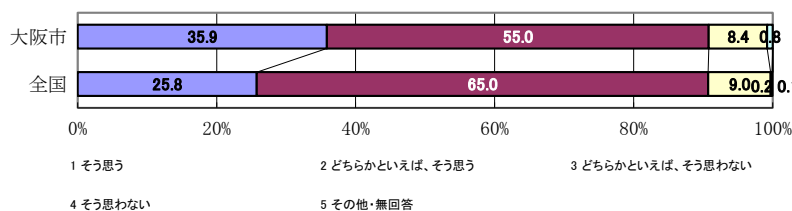
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



27

調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

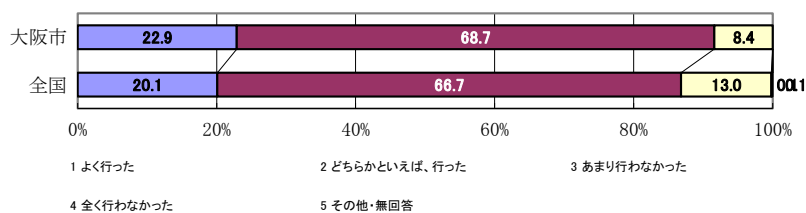
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



33

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか

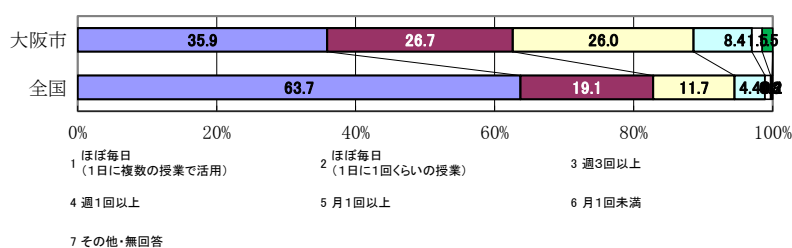
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



58

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

学校 「ほぼ毎日(1日に複数の授業で活用)」を選択



21

学校運営上の課題への対応に当たっては、各教職員(支援スタッフを含む)の専門性を活かせるよう適切な役割分担や連携協働をしていますか

学校 「そう思う」を選択

